

11 氾濫するネット社会の悪意

インターネットの向こう側には、人間がいます。現実の社会と同じように優しい人もたくさんいますが、一方で悪意を持った人や組織もいます。ここでは実際にどんな犯罪やトラブルが起きているのか、見てみましょう。



なりすまし

架空の人物や被害者の知り合いになりすまして、個人情報やクレジットカード情報を盗んだり、プリペイドカード番号を教えるように迫ったりします。

なりすましの種類

- 窃盗・横領：他人のアカウントにログインして犯罪や不正購入を行う
- 詐欺：手に入れた個人情報で身分を偽り、さらに他の人を騙そうとする

フェイクニュース

事実とは異なるニュースを流したり、既存のニュースを偏見やヘイトに満ちた内容に改変したりします。

ネットでフェイクニュースが生まれる原因

- 根拠未確認のままの伝達
- 外国語の違約・誤訳による勘違い
- 海外ゴシップメディアの盲信
- 願望や要望の伝達ミス
- ねつ造による炎上ねらい（愉快犯）



大手メディア（テレビ・新聞）でもフェイクニュースは生まれる



報道によるフェイクニュースの主な種類

- 切り取り報道：前後の話を切り取り、誤解されやすい部分だけを残す
- 誘導報道：過去の別の事件とからめて、同等と思わせる
- 一部の街の声を多数のように思い込ませる

マスコミでフェイクニュースが生まれる原因

- 不十分な取材
- 海外ゴシップメディアの盲信
- 外国語の違約・誤訳による勘違い
- 意図的な盛り上りの期待
- ねつ造、こじつけ

重要

フェイクニュースに対抗するため、物事を客観的かつ批判的に判断する考え方「クリティカルシンキング」を身に着けよう。

実際に広まってしまったフェイクニュースの例を調べてみましょう

ネットショッピング,オークション等のトラブル

購入側が被害を受けるケース：

転売によって不正に価格がつけられる、入金したのに商品が届かないなどのトラブルがあります。

出品側が被害を受けるケース：

購入するつもりがないのに高値で入札される、配送時の伝票から個人情報を盗まれるなどのトラブルがあります。

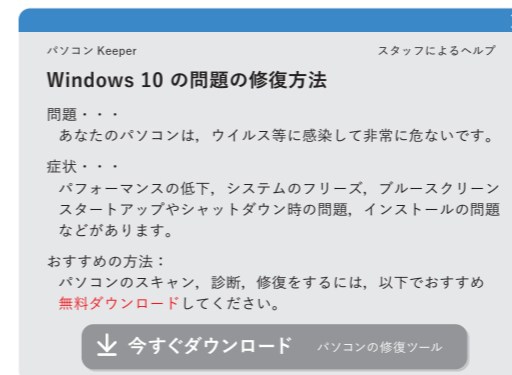


エスクローサービス*など、安全に取引できる仕組みがあれば積極的に使おう。

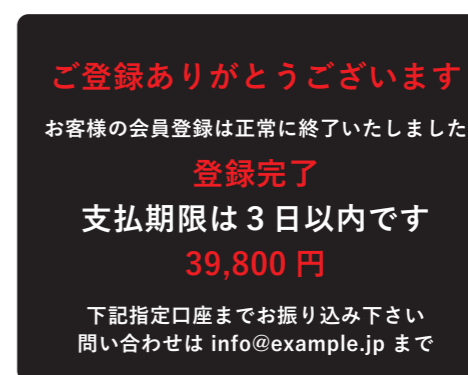
*物品などを売買する際に取引の安全性を保障する仲介サービス。

詐欺サイト

アクセスするだけで個人情報を盗まれたり、ウイルスを送られたりするサイトがあります。そのほか、脅すような言葉とともにお金を要求してくるようなサイトもあります。



親切を装った詐欺（最終的には金銭を要求）



脅し文句による金銭支払いの強要

その他の主な手口

- モデル募集：出会い系サイトにデータを流用される
- 儲かる商品等：マルチ商法や金融商品の取引など

本当のサイトと見間違えるように作ったフィッシングサイトも数多くあるので注意しよう。

裏サイト

法律上許されていない情報や品物を取り扱っているサイトです。普通のサイトのように偽装している場合もあるので、注意が必要です。

裏サイトの主な種類

- 違法取引：薬物、拳銃、ペット、植物（種も含む）、食品
- 日本の認可のない無線 LAN 搭載機器など
- 犯罪教唆（悪いことをそそのかしてやらせる）：
 - 犯罪の仕方や違法品の作り方を教えるなど
 - 犯罪者への名義貸しや間接的協力など

